臼蓋転移性骨腫瘍の骨関連有害事象に関する多施設共同研究

1. 研究の対象

2001年1月から2026年3月までに大阪国際がんセンター、滋賀医科大学医学部附属病院、香川大学医学部附属病院、島根大学医学部附属病院を受診し骨盤の一部である臼蓋に転移性骨腫瘍があると診断された患者さん

2. 研究の概要

がんの診断や治療技術の進歩によって生命予後が改善し、転移性骨腫瘍を生じてからも生存できる症例が増えましたが、疼痛や骨折、麻痺などの骨関連有害事象が生じるリスクも増加し生存できても思うように動けないといった状況が生まれています。その状況を回避するため転移性骨腫瘍に対する適切な診断や治療が求められていますが、臼蓋転移性骨腫瘍ではスコアリング指標がなく治療方針決定が難しいことがあり、本研究では臼蓋転移性骨腫瘍の骨関連有害事象に関するスコアリング確立のため危険因子の同定を進めたいと考えています。

研究期間:研究機関の長の研究実施許可日　～　2029 年 3 月 31 日

研究目的:　臼蓋転移性骨腫瘍の骨関連有害事象に関する危険因子を同定し臼蓋転移性骨腫瘍診療に役立てることです。

研究方法:　研究対象者の方の診療録を後ろ向きに調査し、年齢、性別、部位、骨転移型、腫瘍最大径、疼痛、がん種を検討し、放射線治療後の歩行困難持続や病的骨折、骨関連有害事象との関連を調査します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:病歴、治療歴、骨関連有害事象の発生状況、歩行能力、臼蓋に生じた転移性骨腫瘍の大きさや部位　等

4. 外部への試料・情報の提供

各機関で集められたデータは大阪国際がんセンターへ提供されます。データの提供は、電子データで送付（パスワード設定による安全管理措置を行う）することで行います。対応表は、各機関の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

主たる研究機関及び研究代表者
大阪国際がんセンター　整形外科　田宮大也

解析責任者
大阪国際がんセンター　がん対策センター　疫学統計部　桒原佳宏

共同研究機関及び研究責任者
滋賀医科大学医学部附属病院　整形外科　安藤厚生
香川大学医学部附属病院　　整形外科　福岡奈津子

島根大学医学部附属病院　　整形外科　沖田聡司

６. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター　整形外科　田宮大也
住所：〒541-8567　大阪市中央区大手前３－１－６９
電話：06-6945-1181

滋賀医科大学医学部附属病院　整形外科　安藤厚生
住所：〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
電話：077-548-2252

香川大学医学部附属病院　　整形外科　福岡奈津子
住所：〒761-0793　香川県木田郡三木町池戸 1750-1
電話：087-898-5111

島根大学医学部附属病院　　整形外科　沖田聡司
住所：〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
電話：0853-20-2242

-----以上